

2021年度事業計画(2021年4月1日～2022年3月31日)

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、予定していた事業の多くが実施できなかった。感染状況の先行きが不透明ではあるが、2021年度については、2020年度未実施の事業を遂行する前提で計画する。

(1) 研修事業

① アジア諸国・地域での海外現地セミナー

海外現地セミナーについては、3か国での開催を計画している。

開催候補国は、中国、フィリピンもしくはカンボジア、韓国もしくはベトナムを基本とする。

② 国内セミナー

国内セミナーは、東京で春秋2回開催する。

セミナー名	開催時期	募集人数
OLIS 2021 Spring	2021年5月20日～25日	40名
OLIS 2021 Autumn	2021年10月21日～26日	40名

春セミナーのテーマは「生命保険会社のマーケティング(案)」で、販売チャネルごとのマーケティングについて、各分野の専門家に講義してもらう。

なお、新型コロナウイルスの影響でセミナーが開催できない場合、研修動画を作成し、ホームページ上で公開することを継続する。また、研修動画を視聴した方から研修動画の視聴レポートを募集すること(詳細後述)や、研修動画を使ったリモートセミナーの開催について検討する。

③ 国内セミナー参加者への渡航費支援

セミナーに社員・職員の派遣を希望しながら渡航費用の負担が困難な機関のために、費用を支援する「セミナー等参加渡航費の支援制度」は、途上国からの参加希望に応えるよう継続して実施する。

(2) 教育振興事業

① 生命保険寄附講座

慶應義塾大学の寄附講座「OLIS 生命保険寄附講座」は、4月より12年目(3年講座期間の第4ターム3年目)を開講する。

また、2014年度から開設している中央大学工学部の寄附講座も4月より8年目(3年講座期間の第3ターム2年目)を開講する。

なお、2022 年開始大学選考については、2021 年 3 月公募、2021 年 4 月寄附講座選考委員会で選定、2021 年 5 月理事会承認の予定である

② 保険フォーラム

2020 年度に開催中止となった 5 大学の内、早稲田大学(3 回目)、東北大学(3 回目)、中央大学(2 回目)、岡山大学(初)の 4 大学で開催する計画である。なお、京都大学は、2021 年度も中止となった。

(3) 奨学制度

① タイ生命保険協会奨学制度

前年度と同規模で「タイ生命保険協会奨学制度」に協賛し、奨学金を給費する。

(4) 広報・出版事業

① 論文・書籍・情報の翻訳、紹介

毎年、アジア諸国・地域の生命保険事業の発展に有益と思われる論文・書籍・データを翻訳して提供している。2021 年度は、現在対象書籍を選定中である。

② 財団紹介パンフレットの更新

財団の事業活動や実績などを広く知ってもらうためのパンフレット「INFINITY」(日本語版、英語版)について、直近の事業活動状況を反映させた更新版を作成する。

③ ホームページの活用

アジア諸国・地域と相互に活発な情報交換ができるホームページ構築に 2021 年度も引き続き努める。

④ 「日本の生命保険マーケット最新事情」の発信

日本の生命保険マーケットの最新動向について、アジア各国に理解し自国の生命保険事業振興の参考としてもらうことを目的に、「日本の生命保険マーケット最新事情」をホームページに引き続き掲載する。

(5) 運営委員会の継続設置

財団の事業活動の検討を目的に、財団理事長の諮問機関として運営委員会を継続設置する。

(6) 管理部門

在宅勤務が常態化しているため、在宅勤務時用のパソコンを購入する。

動画視聴レポート(案)

2021年度にセミナーが開催できない場合の財団事業として、アジア各国の監督官庁、生命保険協会、生命保険会社の役職員から、オリスで配信している動画の視聴レポートを募集する。

(目的)

コロナ禍において国内セミナーや現地セミナーが中止となり、代替事業として過去の講義などについて動画を作成し、財団ホームページに掲載し情報発信を行っている。その動画の認知度向上と視聴を促進するため、視聴レポートを募集する。

(方法)

- ・1動画につき1か月間を指定し、A4で1枚程度の視聴レポートを募集する。
- ・送られた視聴レポートを吟味し、優秀なもの10選程度に感謝状と記念品(オリスロゴ入りボールペンなど)を贈呈する。
- ・告知はホームページ上と、セミナー案内を送っている団体へのダイレクトメールで行う。

(効果)

動画を視聴した人が知見を深めることのみならず、動画公開に同意いただいた講演者へフィードバックをすることが可能となる。